



今年も残りわずかとなり、あっという間に一年が終わろうとしています。今年のクリスマスやお正月は、自宅でゆっくり過ごす人が多いと思いますので、じっくりと読める素敵な本を探しに来てください。

クリスマスの本



🎄『あなたのための小さな物語 クリスマス』 ジョン・ラッツ 他：著 赤木かん子：編

外国人作家によるクリスマスの短編集です。ミステリーや癒される話、奇跡の話、幽霊が出てくる話など、聖なる夜こそ楽しめる話が収録されています。

🎄『ナイトメア・ビフォア・クリスマス』 ティム・バートン：原案 橘高弓枝：文

ハロウィンタウンのジャックは、人を驚かせることに退屈していました。ある日、森の中で扉のついた木立を見つけ、その中のモミの木の形の扉を開けてみると、そこはクリスマス・タウンでした。

華やかなその町が気に入ったジャックがした行動とは？

🎄『聖夜』 佐藤多佳子：著

オルガン部に所属する鳴海は、音楽家を目指す母との思い出の曲を文化祭の演奏曲にしますが、自分の思うように弾けず、さぼってしまいます。自分の母への思いを父や祖母に話すことで、気持ちの整理がついた鳴海は、クリスマスコンサートを成功させられるでしょうか。



今月は赤（レッド）の書名本の紹介です。



冬休み前の貸出

- ◆12月17日(木)～23日(水)
- ◆5冊まで借りられます
- ◆返却 1月8日(金)まで

『赤毛のアン』 モンゴメリ：作 きったかゆみえ：訳
赤毛でそばかすだらけのアンはカสบート家に引き取られます。想像力に富みおしゃべり好きなアンは次々と騒ぎを起こしますが、のびのびと成長していきます。

『魔女のルルーと赤い星の杖』 村山早紀：作

気晴らしにルルーが訪れた水晶の街で、伝説の魔女が千年前に眠らせた竜が目を覚まそうとしていました。魔法使いのカイオンと協力して、竜の復活を止めることができるでしょうか。



この本。読んでみませんか？

(元図書委員 秋山忠茂さんおすすめ)

『ユキは十七歳 特攻で死んだ 子犬よさらば、愛しきいのち』 毛利恒之：著

昔実際にあったことを知りたいと、戦争の話を読むようになりました。日本が負けそうだから、国や家族を守るために自らの命を投げ出し、若者が特攻に志願したことが分かりました。この本の主人公の荒木幸雄さんも17歳で特攻兵となり、帰ってきませんでした。彼らがどのように生き、どのような気持ちで死んでいったのかも知りました。今のように平和な状態が続き、戦争が二度と起こらないように、皆にも戦争で起きたことを知って欲しいと思い、この本を紹介しました。